

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2378号 2017年10月10日（火曜日）

《 can not move so many concerns 》

海外市場は全体に「様子見」での週明けのようです。株も為替もあまり動いていない。コロンブス・デーでマーケットは閑散。株は珍しく3指標がそろって小幅安。業績発表シーズン待ちでもある。債券市場は徐々に利回りが上がる傾向。これはあとで簡単に取り上げる9月の雇用統計を受けたものでしょう。筆者が見ている範囲で一つ目立つのはビットコインの大幅な値上がり。

伝統的マーケットがあまり動いていないのは「懸案」が多いため。今日10日は北朝鮮の朝鮮労働党創建記念日で再び軍事挑発（ロシア筋によればミサイル発射）を実行する懸念が生じているし、英国のEU（欧州連合）離脱問題はメイ首相の進退を巡る問題と絡んで深刻化している。スペインのカタルーニャ自治州は、今週のいつか独立を宣言する可能性が高い。諸々警戒すべき要素が多い。

また11日からは中国共産党の中央委員会第7回全体会議（7中全会）が開かれる。これも方向性は見えているが、習近平体制の今後とその政策を見る上では重要だ。筆者はこれまで習近平体制を一番に支えてきた王岐山（本人は引退と言っている）を含めて、指導部の新体制がどうなるかに注目している。

12日からはG20（主要20カ国・地域）財務相・中央銀行総裁会議が開幕する。これに関連するが、長くドイツの蔵相を務めて今回議会議長に転出するショイブレ氏が、「世界的な債務水準や中央銀行資金が過剰に流通している」ことを理由に、「新たな世界的な金融危機」を警告しているのが気になる。

3連休があったためにやや旧聞に属する感じもするが、先週の金曜日に発表になったアメリカ9月の雇用統計は7年ぶりに就業者数がマイナスとなった。非農業部門就業者数は前月から3万3000人減少。これは7年ぶりのマイナス。マイナス幅が大きいですが、概ね相次いだハリケーンの影響によるものと見られ、ある程度は織り込まれていた。その他の労働指標は良好。失業率は前月から0.2ポイント改善、また9月の平均時給も増加。その結果「景気は回復基調で、12月の追加の利上げの可能性」はむしろ高まったとの見方が多い。それがニューヨークの債券利回りの上昇に繋がっている。

トランプ大統領と北朝鮮を巡る状況も不安定で、マーケットが方向性を見極めるのはなかなか難しい状況だ。この文章を書いている時点（午前7時）では、北朝鮮の新たな挑発

は出ていない。ミサイルだとすると朝の可能性が高いが、まだその報道はない。しかし金正恩委員長は先の党の大会で、「核とミサイルの開発」を続ける方針を改めて強調している。だから今後も北朝鮮の挑発は続くと考えた方が良い。

それに対するトランプ大統領の発言・姿勢はどこまでが本気か不明だが、何らかの軍事行動を強く示唆するものになっている。「過去 25 年間の歴代米政権の話し合いの努力は無駄だった」として、「北朝鮮にはひとつの事しか有効ではない」と言っている。軍事オプションを示唆したとも受け取れるが、これが今の政権の中でどのくらい主流の考え方になっているのかは不明だ。

マティス国防長官やティラーソン国務長官はむしろ違う意見を持っているとも受け取れる。政権の運営自体がガタガタしているので、トランプ政権の今後の対北朝鮮政策を予測するのは、北朝鮮の出方に関する予想以上に難しい。マーケットとしては警戒的にならざるを得ない。

《 Japanese political situation can derail market 》

日本のマーケットの視点で見ると、今日 10 日に公示される衆議院選挙の行方も読めない。各紙の世論調査を見ると支持率でトップにあるのは自民党で、次いでその半分くらいの支持率で希望が続いている。しかし希望の場合は新党で今後 2 週間ほどの間に急激に萎むこともあるだろうが、逆に大きく再ブームを起こす可能性もある。今の状態を言うと「ブームも一時ほどではなく、陰りが見える」というのが当たっていると思う。

それは立ち位置、政策が今ひとつ明確でないことが大と思う。「安倍一強政治へのチャレンジ」に触れながら、首班指名の候補も明らかにしないし、政策・方針は一番自民党に実は近く、小池代表も選挙後の自民党との連携や大連立の可能性を否定していない。つまり立ち位置がよく分からない。一方で立憲民主党は、顔ぶれはフレッシュではないしメンバー的には大きな魅力にも欠けるが、「日本の政治シーンからリベラルが消える」ことを懸念する選挙民から案外支持を集める可能性もある。その辺が読めない。

ただし一つははっきりしているのは、日本の政治シーンはマーケットが一般的に「期待する方向」からズレてきていることだ。第一に安倍首相そのものが、財政健全化への大きな方針から外れた道を歩もうとしている。それは消費税の使い道を大きく切り替えたことに示される。2020 年財政基礎収支の黒字化の方針は実質的に放棄された。また他の政党も横文字などを使って目新しい政策を選挙用に打ち出しているが、その財源の明示をしばしば曖昧にしている。これは日本の債券市場にとっては潜在的な脅威だ。選挙結果がどのように展開するのかを含めて、この政策の政治的行方も気にしておく必要がある。

- - - - -

今週の主な予定は以下の通り。

10月10日（火曜日）	衆院選公示（22日投開票）
	8月国際収支

	9月景気ウォッチャー調査
10月11日(水曜日)	8月機械受注 米9月19・20日開催のFOMC議事録
10月12日(木曜日)	9月国内企業物価指数 9月都心オフィス空室率 8月第三次産業活動指数 米9月生産者物価 インド9月消費者物価指数 G20財務相・中央銀行総裁会議(～13) 休場=ブラジル
10月13日(金曜日)	9月マネーストック 米9月消費者物価 米9月小売売上高 米10月ミシガン大学消費者マインド指数 米8月企業在庫 オプションSQ

《 have a nice week 》

3連休はいかがでしたか。毎年秋には連休が多くてちょっと「またか」という気もしますが、体を休めることが出来、普段出来ないことに取り組めるのは良いと思います。今日は10月10日。「晴れの特異日」とされ、1964年の最初の東京オリンピックが開幕した日として記憶にある。当時のビデオを見ても本当に綺麗な青空でした。しかし2020年のオリンピックは東京に猛暑の危険性がある8月に行われる。日本の10月は本当に良い季節なので、「本当はこの時期がいいのに…」と思うのですが、既に日程は決まっている。準備万端にしないと、結構きついオリンピックになる気がする。

この週末は我が家に新しい機器がいくつか。その一つはグーグル・ホーム。「AIスピーカー」と言われ、家電量販店でも一押し商品に早くもなっている。数日間使っただけですが、「声」で家の中が繋がった雰囲気があり、今までの自分の家が新しい顔、印象を持ったような気がする。とっても面白い。

一番びっくりしたのはちょっとベッドで横になっていて、「そう言えば何かニュースが...でも立ち上がるのは面倒」と思って、「ok Google 最新ニュースは？」と声を掛けた時。少し大きい声で。グーグル・ホームをリビングに置いたので。距離は15メートルくらいあり、しかも曲がっている。壁があるので。「無理だろうな...」と。

しかし本当にビックリしました。言い終えたら「午後9時のNHKニュースをお伝えします...」と最新ニュースを読み上げ始めた。ということは、リビングルームに一台グーグ

ル・ホームを置いておけば、ベッドルームから起き上がりずに声を掛けて、ベッドルームの電灯を消すことが出来るし、好きな音楽を奏でさせることも出来ると言うことです。

ちなみに今我が家のグーグル・ホームは「ビートルズを」という要望に応じて、もう何時間も関連音楽を出し続けている。知らない曲もあって面白い。むろんそれにはグーグルの「play music」というサービスに入る必要がある。確か最初の60日は無料お試し期間なので私も入ってみました。あとフィリップスのhueという電球(LEDサイズです)はwifi接続が可能で、よってグーグル・ホーム(アプリをスマホに入れます)の操作対象。

使い始めてから数日ですが、驚きもあるし、「繋がり」はこれからも進むでしょうから、もっと用途が増えると思う。多分とっても面白い。アメリカで人気が出ているのが分かる。例えばベッドルームに居て、「ねえ、グーグル お風呂を沸かして」と言えば沸かしてくれるようなシステムが出来れば、とっても便利になる。むろん家に向かう車からスマホ(または車の中のAIスピーカー)からコマンド(指令)を入れることも可能になるでしょう。将来だが、遠い将来ではない。

グーグル・ホームは計算がうまいですよ。電卓いらず。辞書代わりにもなる。動物や鳥の鳴き声は得意。まだゆっくり付き合えていないのですが、とにかく家に帰って「ok google 最新ニュースは」と聞く癖が付いてしまった。スマホ見るのも、テレビつけるのもかかったりじゃないですか。声一つで機械が動いてくれるのが良い。このマシンが出来る仕事はどんどん増えるでしょうね。IOTなどの進展次第、私の家の仕組みの組立具合次第です。ニュースもNHK、TBS、ラジオ日経などなど既にいろいろ揃っている。読み上げの順番を変えることも可能。しかし一番直近のニュースを聞かせてくれるのは毎時のNHKラジオニュースかな。定時を10分も過ぎると、その当該時の最新ニュースを伝えてくれる。

ちょっと面倒なのは必ず「ok」か「ねえ」を入れて「Google」と呼びかけなくてはいけないこと。それに飽きたので「おーい Google」と言ったら反応しなかった。「ok Google」と「ねえ、グーグル」が決め文句で、それが言ってみればスイッチなのです。その二つのフレーズ発生で私の音声認識もしていた。

値段もそんなに高くないし、miniも出る。おもしろいんじゃないでしょうか。AIなので、使えば使うほど賢くなってくれるでしょう。Philips hue と Chromecast ultra の設定も終えつつあるので、この二つに慣れればもっともっと用途が増えると思う。

それからもう一つ。この週末に気がついたのは、アップルウォッチに入れたスイカとは別に、スマホサイドに別にスイカを入れることが出来るということ。今までの私の認識ではスマホに入れたスイカをアップルウォッチに移すと、スマホのスイカがなくなってスマホではスイカが使えなくなっていた(と思っていた)。

しかしこの週末にショップに行っている話していたら、スマホのスイカアプリの右上の「+」から、新たにスマホ用のスイカを入れられると分かった。今私の「7」には三つのスイカが稼働する状態になっている。アップルウォッチを二つに分けて使っていますから。それぞれのスイカアプリに入金しないといけませんが、これはとっても便利です。オ

ートチャージにしておけば入金の手間も省ける。地下鉄やスイカ、パスモ対象交通機関を使っている人にはとっても便利でしょうが。もっともご存じだった方はいるでしょうが。それでは皆さんには良い残りの週をお過ごし下さい。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》